

目標の柱	5	町民と行政との協働によるまちづくりと未来を拓く行政経営
基本目標(政策)	5-1	地域力の向上を図ります
基本計画(施策)	5-1-5	・移住定住の促進と定住者支援の充実

	課	係
主管課・係	総合政策課	地域振興係
	総合政策課	企画政策係
関係課・係	商工観光課	商工振興係
	商工観光課	雇用対策係

**【施策の目的と取組・現状分析】**

<p>1 施策の目的(対象・意図)は何ですか？ ※対象(誰が、何が)、意図(どのようになることを目指すのか)を対象ごとに記載してください。</p>	<p>①移住定住する若者が増え、集落内の交流などにより集落機能が活発化します。また、本町への移住者相互の交流が図られる。</p>																																																												
<p>2 「目指すべき状態」になるための成果目標は何ですか？</p>	<p>▼「目指すべき状態」を実現するために目標とする成果は何ですか？箇条書きで記載してください。</p> <p>①移住相談総合窓口を設置し、その窓口を通じた移住定住者の増加。</p>																																																												
<p>3 成果指標の状況(☆は追加した指標、※は変更した指標)</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th rowspan="2">単位</th> <th>令和元年度</th> <th colspan="2">令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> </tr> <tr> <th>実績値</th> <th>目標値</th> <th>実績値</th> <th>目標値</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A ☆移住相談総合窓口を通じた移住者数(累計)</td> <td>組</td> <td>10</td> <td>※6</td> <td>21</td> <td>15</td> <td>25</td> </tr> <tr> <td>B 若者定住応援プログラム交付金受給者数</td> <td>人</td> <td>22</td> <td>※30</td> <td>26</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>C</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>D</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		単位	令和元年度	令和2年度		令和3年度	令和4年度	実績値	目標値	実績値	目標値	目標値	A ☆移住相談総合窓口を通じた移住者数(累計)	組	10	※6	21	15	25	B 若者定住応援プログラム交付金受給者数	人	22	※30	26	-	-	C							D							<p>5 令和3年度の目標値達成の見込みと方向付け</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>評価</th> <th>▼その理由として考えられること</th> <th>見込み</th> <th>▼その根拠と目標値設定(変更)の考え方</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A ② 上回った</td> <td>相談窓口や空き家バンクを活用していただいた。</td> <td>③ 取組改善で達成可能</td> <td>「職」と「住」を中心に提案ができるよう工夫する。</td> </tr> <tr> <td>B ④ 下回った</td> <td>制度は浸透してきたが、U・Iターン者が減少傾向にあるため。</td> <td></td> <td style="text-align: center;">-</td> </tr> <tr> <td>C</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>D</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	評価	▼その理由として考えられること	見込み	▼その根拠と目標値設定(変更)の考え方	A ② 上回った	相談窓口や空き家バンクを活用していただいた。	③ 取組改善で達成可能	「職」と「住」を中心に提案ができるよう工夫する。	B ④ 下回った	制度は浸透してきたが、U・Iターン者が減少傾向にあるため。		-	C				D			
			単位	令和元年度	令和2年度		令和3年度	令和4年度																																																					
	実績値	目標値		実績値	目標値	目標値																																																							
A ☆移住相談総合窓口を通じた移住者数(累計)	組	10	※6	21	15	25																																																							
B 若者定住応援プログラム交付金受給者数	人	22	※30	26	-	-																																																							
C																																																													
D																																																													
評価	▼その理由として考えられること	見込み	▼その根拠と目標値設定(変更)の考え方																																																										
A ② 上回った	相談窓口や空き家バンクを活用していただいた。	③ 取組改善で達成可能	「職」と「住」を中心に提案ができるよう工夫する。																																																										
B ④ 下回った	制度は浸透してきたが、U・Iターン者が減少傾向にあるため。		-																																																										
C																																																													
D																																																													
<p>6 施策の目的に対して、今まで実施してきたことはありますか？</p>	<p>・移住者目線で移住希望者をサポートする仕組みの構築。 ・移住定住者の増加を図るため、若者定住応援プログラム交付金よりU・Iターン者等への定住支援を行った。</p>																																																												
<p>7 町民等の外部意見を聴取する仕組みと反映状況を記載してください。</p>	<p style="text-align: center;"><input type="checkbox"/> 有      <input checked="" type="checkbox"/> 無</p>																																																												

**【施策の振り返り】**

<p>8 「2 成果目標」に対する有効性(成果が上がった点・問題点)</p>	<p>《成果》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・移住者13名(内相談窓口を通じた移住者11名)につながった。</li> <li>・若者定住応援プログラム交付金により、新規学卒者17名、U・Iターン者9名の定住支援につながった。</li> </ul> <p>《課題》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・独自の情報収集と情報発信の工夫。</li> <li>・「職」と「住」を組み合わせた多種多様な生活スタイルのモデルを描く必要がある。</li> <li>・コロナ禍により直接面談や現地案内ができない。</li> </ul>
<p>9 本施策の類似性</p>	<p style="text-align: center;"><input type="checkbox"/> 有      <input checked="" type="checkbox"/> 無</p>
<p>10 本施策の効率性</p>	<p>新規就農支援等、各課との連携や、定住相談窓口や空き家バンクの活用により、効率的に事務を進めている。</p>

**【結論として・・・(施策の振り返りも踏まえて)】**

<p>11 自己評価や外部意見を踏まえた施策全体の今後の方向性</p>	<p>コロナ禍において、オンライン相談を継続して実施します。今後も関係者とのつながりを基本に、本町の住環境の優位性をPRしていきます。</p>
-------------------------------------	---

12 施策を構成する事務事業

番号	事務事業名 (令和3年度新規事業に★)	所管課 担当係	事業の目的、概要、成果、問題、問題に対する対策を簡潔に記載してください。(2行以内)			
			事業費(千円)			
			令和元年度決算額	令和2年度決算額	令和3年度予算額	令和4年度予算額
01	定住対策プロジェクト事業	総合政策課	目的	人口減少に歯止めをかけ、若者の移住定住の促進を図る。		
			概要	首都圏で行われる移住定住相談会への参加し町の魅力をPRする。地域の特色をいかした仕事づくりの調査研究等を進め、定住を希望される方には住宅の取得支援を行う。		
			成果	定住促進住宅支援を2件実施した。また、オンラインでの移住相談会に出展した。		
		地域振興係	問題	コロナ禍により、首都圏で行われる移住相談会がオンラインになり、直接、顔と顔を合わせて活動できない場合、どのように参加者にアプローチするか課題が残った。		
			対策	①継続 総合的な情報収集と発信が必要である。また、将来的に移住につながるような取組を続ける。		
			事業費	8,470	2,458	9,422
02	若者定住応援プログラム交付金事業	商工観光課	目的	町内事業所等に就職する若者への生活支援を通じた定住促進と事業所における人材育成を推進する。		
			概要	町内事業所等に正社員として就職した新規学卒者、U・Iターン者及び雇用する町内事業所に対して交付金を支給し、若者への生活支援と事業所における人材育成費の支援を行った。		
			成果	新規学卒者17名、U・Iターン者9名の計26名に対する生活支援と町内15事業所の人材育成の支援につながった。		
		商工振興係	問題	地元企業へ就職する際の一時的な支援にとどまっている。		
			対策	①継続 関係課で移住者等の情報を共有し、支援策の効果について検証を進める。		
			事業費	4,472	5,456	4,900
03			目的			
			概要			
			成果			
			問題			
			対策			
			事業費			
04			目的			
			概要			
			成果			
			問題			
			対策			
			事業費			
05			目的			
			概要			
			成果			
			問題			
			対策			
			事業費			
06			目的			
			概要			
			成果			
			問題			
			対策			
			事業費			
07			目的			
			概要			
			成果			
			問題			
			対策			
			事業費			
08			目的			
			概要			
			成果			
			問題			
			対策			
			事業費			
事業費の合計(千円)			12,942	7,914	14,322	14,400